

# MS Orcaを使用したJabber MSIインストーラの カスタマイズに関するテクニカルノート

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

## 概要

このドキュメントでは、MS Orcaを使用してCisco Media Services Interface(MSI)インストーラをjabber用にカスタマイズする方法について説明します。

MS OrcaはWindows MSIインストーラエディタです。Windowsインストーラパッケージおよびマージモジュールを作成および編集するためのデータベーステーブルエディタです。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Microsoft Orca:Windows SDK 7.1以降。
- Cisco Jabberインストーラバージョン9.0以降。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## 設定

これは、MSインストーラをカスタマイズする手順です。

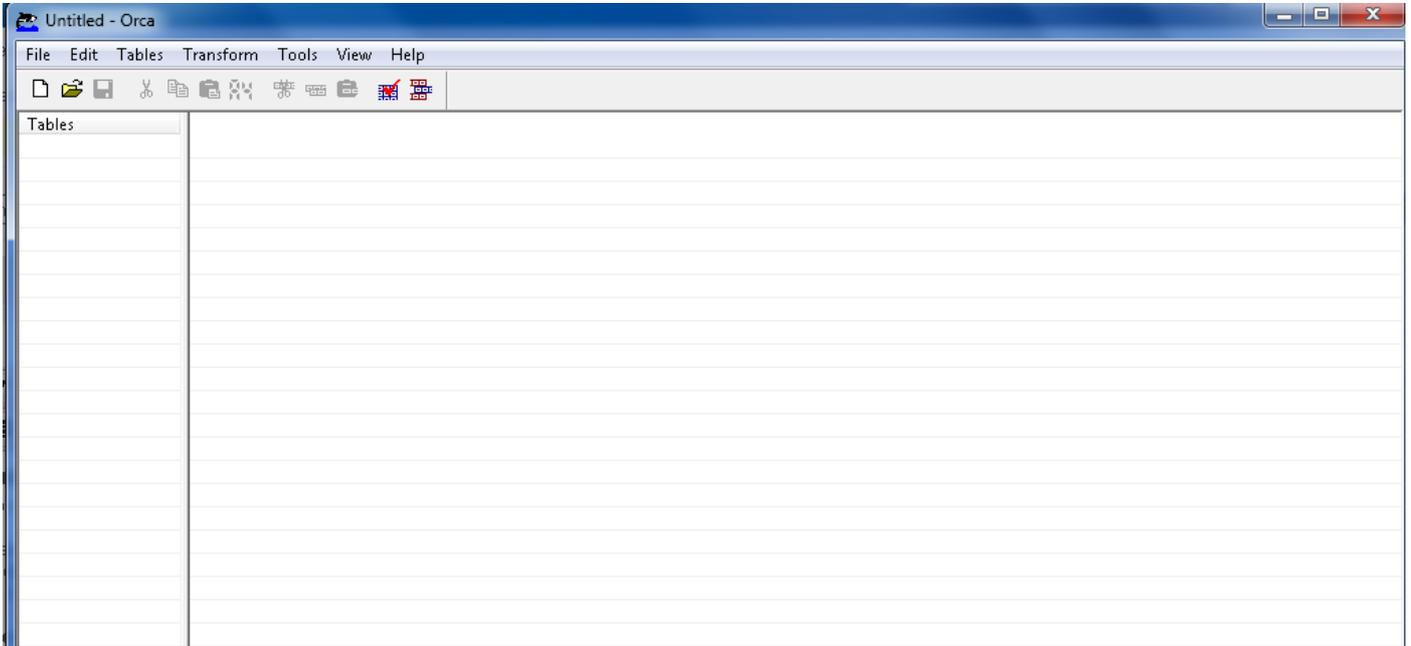
ステップ1:Microsoft Orcaをダウンロードしてインストールします。

ステップ2:ccoページから、管理者パッケージとともにカスタマイズするjabberのインストーラを

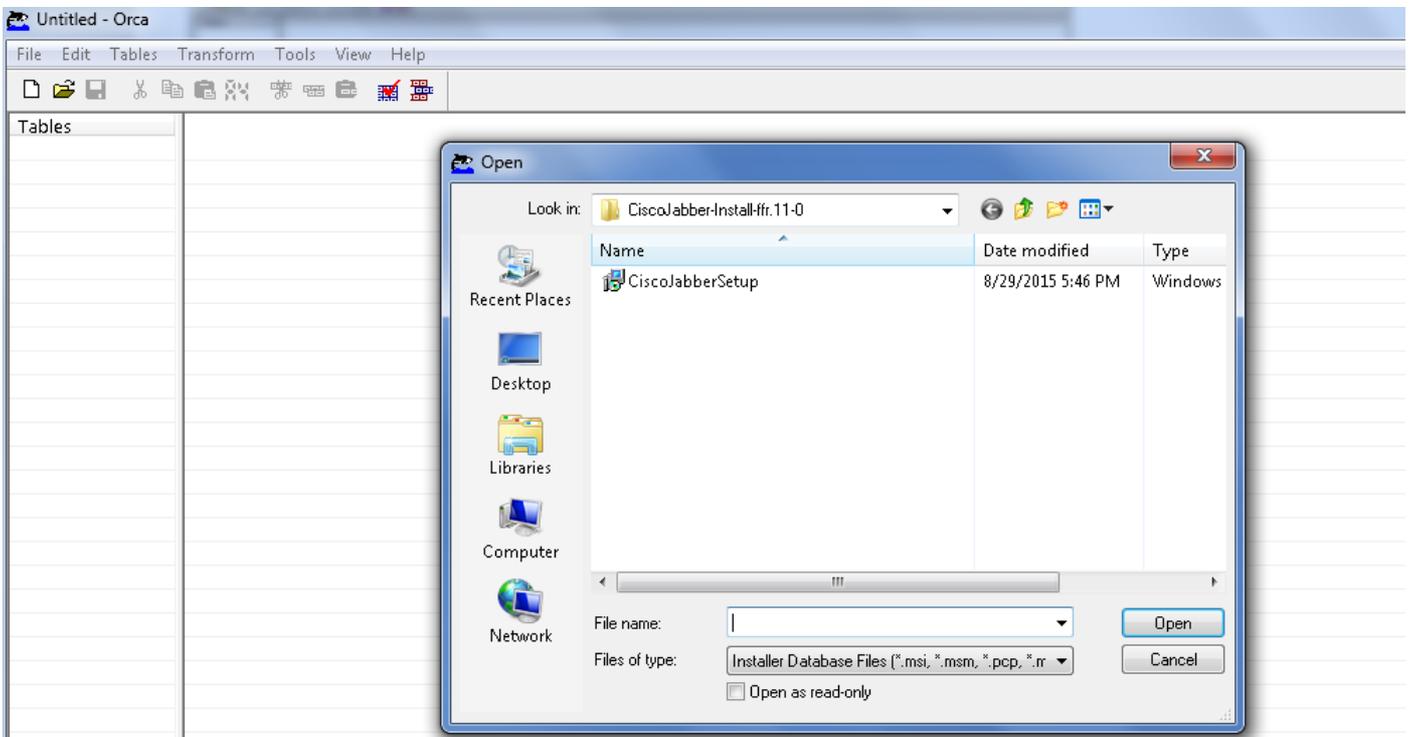
ダウンロードします。

ステップ3：インストーラと管理者パッケージを単一のフォルダに解凍します。

ステップ4:Microsoft Orcaを起動します。



ステップ5：図に示すように、Orcaでjabber msiインストーラCiscoJabberSetup.msiを開きます。

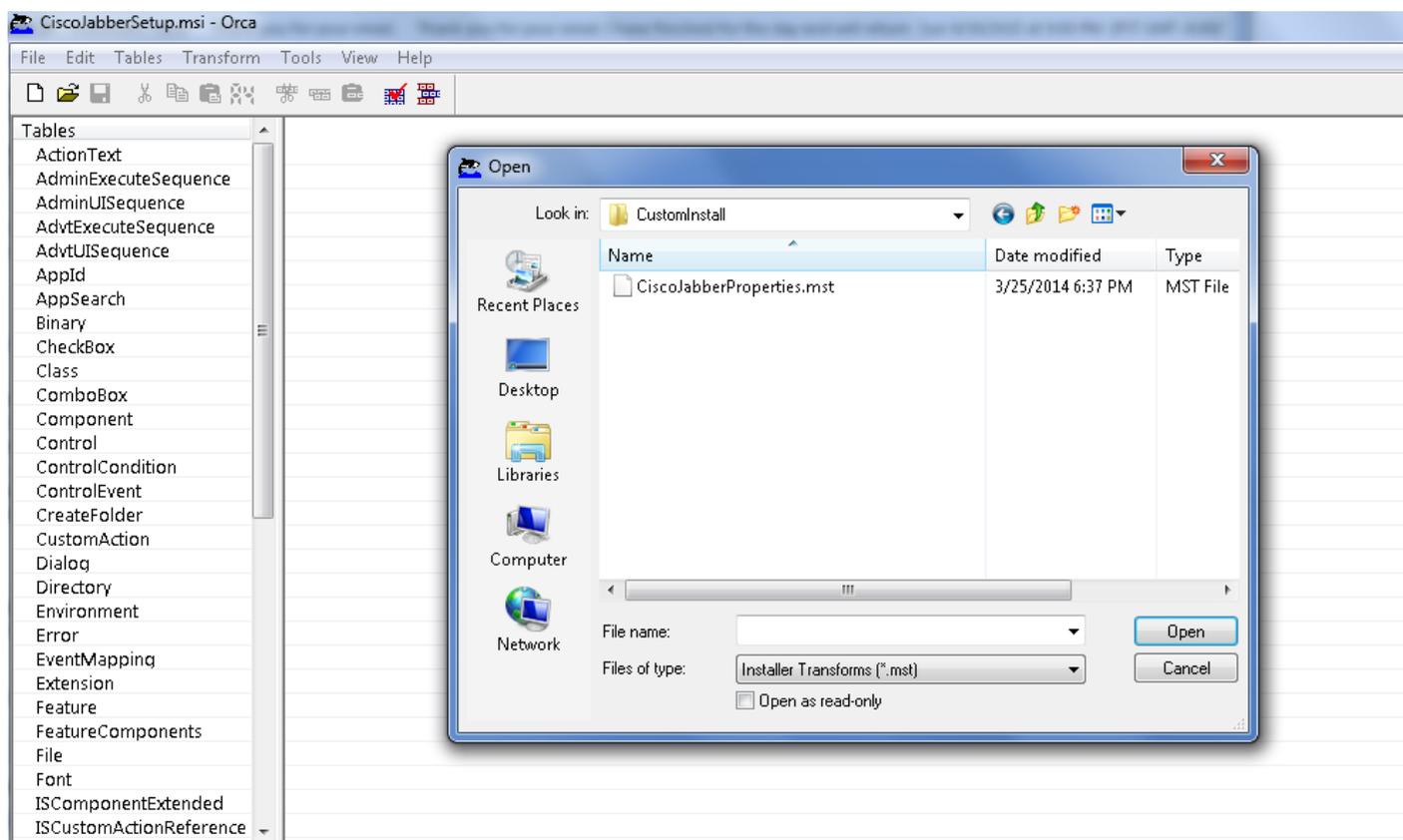


ステップ6:1033 ( 英語 ) を除くすべての言語コードを削除します。

注：この制限は、MS Orcaがデフォルトの1033以外の言語を保持しないためです。すべての言語コードがカスタムインストーラから削除されない場合、英語以外の言語のオペレーティングシステムではインストーラを実行できません。

ListView	PROGMSG_IIS_REMOVEWEBSERVICEEXTENSIONS	Removing web service extensions...
Media	PROGMSG_IIS_REMOVEWEBSITES	Removing IIS websites...
ModuleComponents	PROGMSG_IIS_ROLLBACKAPPOOLS	Rolling back application pools...
ModuleSignature	PROGMSG_IIS_ROLLBACKVROOTS	Rolling back virtual directory and web site changes...
MsiFileHash	PROGMSG_IIS_ROLLBACKWEBSERVICEEXTENSIONS	Rolling back web service extensions...
Patch	PROGRAMFILETOLAUNCHATEND	Launch
ProgId	ProductID	none
Property	ProductLanguage	1033
RadioButton	ProductName	Cisco Jabber
ReqLocator	ProductVersion	11.0.0.65527
Registry	ProgressType0	install
RemoveFile	ProgressType1	Installing
Shortcut	ProgressType2	installed

ステップ7:[Transform] > [Apply Transform] に移動し、ファイルシステム内のトランスフォームファイルの場所を参照します。トランスフォームファイルを選択し、図に示すように[Open] をクリックします。カスタムインストーラを作成するには、変換ファイルが必要です。変換ファイルには、インストーラに適用されるインストールプロパティが含まれています。



ステップ8：図に示すように、[Tables] > [Property] に移動すると、右側のパネルアウトにプロパティのリストが表示され、その中で緑色の背景の線がカスタマイズ可能なプロパティになります

Property	Value
RebootYesNo	Yes
ReinstallModeText	omus
SHOWLAUNCHPROGRAM	-1
SecomSDKFilename	SecomSDK.exe
SecureCustomProperties	ISFOUNDNEWERPRODUCTVERSION;USERNAME;COMPANYNAME;ISX_SERIALNUM;SUPPOR...
TELEMETRY_ENABLED	0
WebExMapiFileName	wbxcOIE.exe
WebExMapiFileName64	wbxcOIE64.exe
q	0
tewst	0
true	0
ISReleaseFlags	NoFlags
InstallShieldTempProp	0
CLEAR	<Bootstrap override argument>
SERVICES_DOMAIN	<Services domain>
USE_FT_GATEWAY	<File transfer support>
LOGIN_RESOURCE	<Multi-resource login support>
CCMCIP	<CCMCIP server address>
CTI	<CTI server address>
TFTP	<TFTP server address>
PRODUCT_MODE	<Your Jabber product mode>
AUTHENTICATOR	<Fallback Authenticator>
CUP_ADDRESS	<IPAddress/Hostname/FQDN>
FORGOT_PASSWORD_URL	<URL to organizations change password site>
TFTP_FILE_NAME	<Name of the TFTP file>
LANGUAGE	<The language code e.g. 1033>
SSO_ORG_DOMAIN	<Domain for SSO configuration>
VOICE_SERVICES_DOMAIN	<Voice Services Domain>
EXCLUDED_SERVICES	<CUP_CUCM_WEBEX>

ステップ9：要件に従ってプロパティの値を指定します。

CLEAR	1
SERVICES_DOMAIN	<Services domain>
USE_FT_GATEWAY	<File transfer support>
LOGIN_RESOURCE	<Multi-resource login support>
CCMCIP	<CCMCIP server address>
CTI	<CTI server address>
TFTP	<TFTP server address>
PRODUCT_MODE	<Your Jabber product mode>
AUTHENTICATOR	<Fallback Authenticator>
CUP_ADDRESS	<IPAddress/Hostname/FQDN>
FORGOT_PASSWORD_URL	<URL to organizations change password site>
TFTP_FILE_NAME	<Name of the TFTP file>
LANGUAGE	<The language code e.g. 1033>
SSO_ORG_DOMAIN	<Domain for SSO configuration>
VOICE_SERVICES_DOMAIN	<Voice Services Domain>
EXCLUDED_SERVICES	WEBEX

ステップ10：不要な他のすべてのプロパティを削除します。

設定されていないプロパティを削除することが重要です。削除しないと、必要なプロパティが有効になりません。

不要なプロパティを削除するには、削除するプロパティに移動して右クリックします。

次の図に示すように、[Drop Row] を選択し、[OK] を選択します。

CLEAR	1
SERVICES DOMAIN	<Services domains>
USE_FT_GATEWAY	<File tra
LOGIN_RESOURCE	<Multi-r
CCMCIP	<CCMCI
CTI	<CTI ser
TFTP	<TFTP sg
PRODUCT_MODE	<Your Je
AUTHENTICATOR	<Fallbac
CUP_ADDRESS	<IPAddr
FORGOT_PASSWORD_URL	<URL to
TFTP_FILE_NAME	<Name
LANGUAGE	<The lar
SSO_ORG_DOMAIN	<Domain
VOICE_SERVICES_DOMAIN	<Voice S
EXCLUDED_SERVICES	WEBEX

Property - 149 rows

Errors...	
Cut Cell	Ctrl+X
Copy Cell	Ctrl+C
Paste Cell	Ctrl+V
Paste New GUID	Ctrl+G
Import Text File...	
Cut Row(s)	Ctrl+Shift+X
Copy Row(s)	Ctrl+Shift+C
Paste Row(s)	Ctrl+Shift+V
Add Row	Ctrl+R
Drop Row	

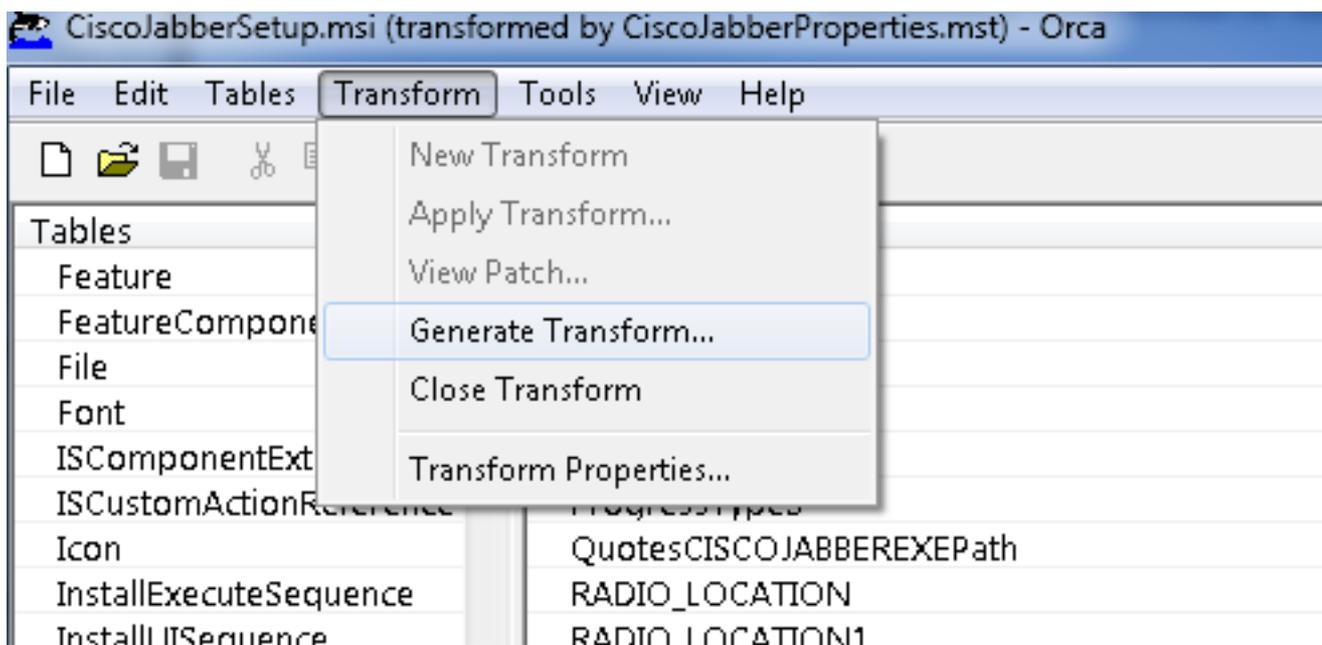
ステップ11：変更する必要があるプロパティを保持します。

ISReleaseFlags	NoFlags
InstallShieldTempProp	0
CLEAR	1
EXCLUDED_SERVICES	WEBEX

ステップ12：生成された変換ファイルも保存し、インストーラのプロパティを変更するために使用できます。

変換されたファイルを保存するには、図に示すように、[Transform] > [Generate Transform] に移動します。

この変換されたファイルは、filename.mstの形式で保存できます。

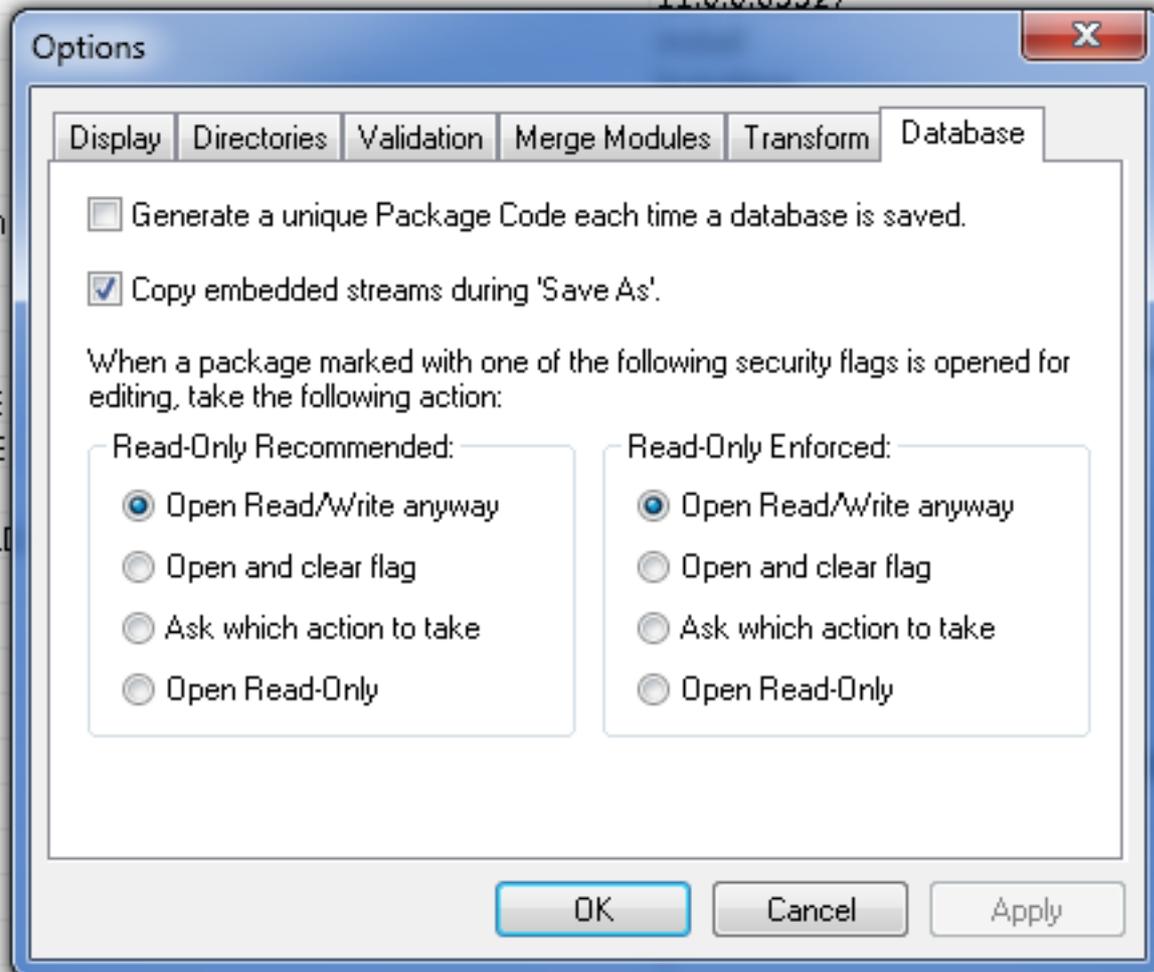


ステップ13：インストーラを有効にして埋め込みストリームを保存します。

[Tools] > [Options] に移動し、[Database] タブで、[Copy embedded streams during 'Save As'] にチ

ブックマークを付け、次の図に示すように[inApply]と[OK] をクリックします。

CISCO JABBER  
11.0.0.65527



ステップ14:[File] > [Save Transformed As] に移動して、カスタマイズしたインストーラを保存します。適切な名前を指定し、[Save] をクリックします。

このカスタマイズされたインストーラは、グループポリシーの展開で使用できます。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。